

現在のスキンケアの多くは、特定の症状を一時的に 和らげるための緩和スキンケア

●肌の緩和スキンケア

目的:

- 肌の不快感や赤み、かゆみ、乾燥などの特定の症状を一時的に、即効的に和らげ、短期的な肌の快適さを提供することを目指します。

緩和スキンケア後は皮膚バリアが弱くなります。自ら丈夫な角質層を形成する『ターンオーバー』を促進することが重要です。そのためには、皮膚バリアを修復・強化し、角質の水分保持力を高めるケアが必要です。なぜなら、角質の水分保持力が低下し乾燥すると、『ターンオーバー』がうまく行かなくなり、せっかく緩和スキンケアを行っても、肌トラブルを繰り返すことになるからです。

もし『ターンオーバー』がうまく働かない場合、保湿ケアを行っても保湿効果は一時的であるため、保湿効果が切れると乾燥肌に戻ってしまいます。その結果、肌の不快感や赤み、かゆみ、乾燥などの症状が繰り返されるため、根本的な解決には至りません。

現在のスキンケアのほとんどは緩和スキンケアで、根本的な解決には至るスキンケアではなく、一時的に、即効的に特定の症状緩和なっています。緩和スキンケアの後に行う保湿ケアと皮膚バリア修復・強化ケアを間違えると、せっかく緩和スキンケアを行っても、肌トラブルを繰り返すこととなります。では、緩和スキンケアの後の正しいスキンケアとは。

リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で、皮膚バリアを修復・強化するケアのことです。このケアを、緩和スキンケアの対極にあるスキンケアで、肌の健康を目指すケア(ヘルススキンケア)と名付けました。

肌の健康を目指すケアは、皮膚バリアの構造を修復・強化し、肌本来の機能である『ターンオーバー』をサポートします。これにより、肌自らが丈夫な、つまり角質水分保持力のある角質層を形成し、持続的な肌の快適さと健康を目指します。